

荒川区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

第18回



あらぶんちよ町会見聞録

町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに
対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



駅前広場を活用した イベントを通して、 若い世代にもアピールを

さまざまな意見を取り入れ、町会活動を行っていきたい

日暮里中央町会 会長 廣澤 愛和さん



●日暮里中央町会

タワーマンションが4棟あり、2900世帯ほど擁するJR日暮里駅前のエリア。マンションは管理組合として全世帯が町会に加入しているところが多く、町会員は2400世帯程度。現在もマンションが建案中で、今後も世帯数は増加傾向。

平成29年に町会会館が リニューアル

以前の町会会館は昭和55年築の建物でしたが、マンションの建設が決まり、平成29年からはその1階が新しい町会会館となりました。どうしても面積が狭くなってしまうため、地下に倉庫も設けています。

当町会はJR日暮里駅前に位置するエリアのため、マンションやビルが増加しています。町会員は約2400世帯と荒川区でも3番目に会員数の多い町会です。マンションにお住まいの方の町会活動への参加を願っていたと思っておりませんが、なかなか難しいのが現状。今後住民は増えていくと思いますが、いかに興味を持ってもらうかが課題です。魅力ある町会にする

ため、マンションにお住まいの皆さんにもぜひ参加いただきたいですね。大歓迎です!

祭礼や防災訓練には マンション住民も参加

8月下旬の土曜・日曜に催される諏方神社の祭礼が、年間で一番大きな行事です。日暮里駅前の広場で行うので、たくさんの方に見ていただくことができます。夜は納涼踊りも実施しています。夜店も町会から出しておりますので、かなり賑わいます。毎年7月のAED講習や、9月の防災訓練なども駅前広場で実施しています。やはり駅前なので町会以外の方も毎年参加されますね。防災訓練も多くの方の目に留まるので、マンションにお住まいの方が家族連れで参加することもあります。このような行事が町会活動に興味を持つきっかけになればと思います。

日暮里共成町会、東日暮里六丁目町会の3町会合同で、ひぐらし小学校での避難所開設訓練



日暮里駅の駅前広場で行われる納涼踊り。防災訓練やラジオ体操などもここで行うため、幅広い方に認識してもらえる機会となっている。

も行っています。うちの町会はマンションが多いので、避難所へ行く方は少ないかもしれませんが、インフラが止まれば増える可能性もあります。今後もしっかり訓練していきたいです。

周囲の意見を取り入れて 活動していきたい

私は町会長になって2年目です。大切にしているのは人の話をしっかり聞くこと。世帯数の多い町会なので、一人ひとり、さまざまな意見があります。自分が正しいと思ったことでも、違う意見の方が必ずいるので、それも1つの意見として取り入れていきたいと思っています。

町会の役員も高齢化し、若返りを図っていかないと、町会活動が立ち行かなくなるといわれています。数年前から、子どもたちを主体に計画したバスハイクも始めました。若い方も参加して下さっているのです。こうした機会に町会の行事をアピールしていきたいですね。



一昨年のバスハイクは、千葉県のマザー牧場へ。まだ始めたばかりなので、皆さんに楽しんでもらえるイベントとして認知されることが目標。



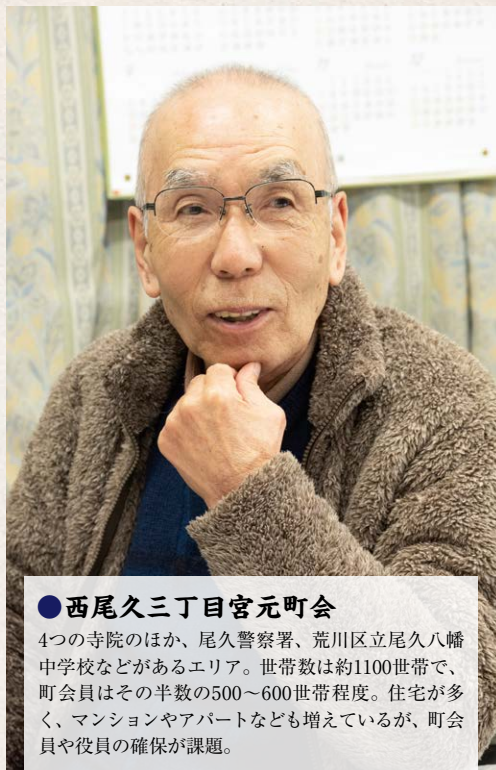
吹奏楽部の演奏会や 祭りの神輿など、 地元の中学校とも協力

役員の人員は少ないものの、中学校など地域と密着しながら活動中

西尾久三丁目宮元町会 会長 福島 榮三郎さん

町会活動を実施
地元中学と関わりながら

当町会のエリアには荒川区立尾久八幡中学校があり、さまざまな行事で関わっています。その発端となったのが吹奏楽部の演奏会。東京都中学校吹奏楽コンクールで何度も金賞を受賞する実力のある部で、以前は小台橋みずき通り商店会が主催していたのですが、東日本大震災のあたりで実施できなくなり、町会が引き継ぐことになりました。毎年9月の第一日曜日に、中学校の武道場で1時間半ほどの演奏会を開催しています。100席ほど用意していますが全然足りず、立見が出るほど盛況です。中学校との関わりはこれだけではなく、例年8月に行われる八幡神社のお祭りでも協力して



●西尾久三丁目宮元町会

4つの寺院のほか、尾久警察署、荒川区立尾久八幡中学校などがあるエリア。世帯数は約1100世帯で、町会員はその半数の500～600世帯程度。住宅が多く、マンションやアパートなども増えているが、町会員や役員の確保が課題。

もらっています。なかなか神輿を担ぐ子どもがいないので、毎年30名ほどの生徒さんに小神輿を担いでもらっています。大神輿もあるのですが、これは大人が100名くらい必要で、もう10年以上出していないんです。中学校のおかげで小神輿は出すことができ、大変助かっています。半纏は運動会でソーラン節を踊ったりするときに貸し出したりもしているんですよ。

避難所設営訓練が 3町会合同でスタート

一昨年くらいから、尾久八幡中学校が避難所に指定されている西尾久二丁目北町会、西尾久六丁目町会と3町会合同で避難所設営訓練を行っています。中学校の体育館を借りて段ボールでベッドを作ったり、炊き出しをしたりしました。今後毎年2月に実施する予定です。それまでは、町会会館前の駐車場を利用していただいで防災訓練を行っていました。ガスや電気



尾久八幡中学校吹奏楽部の演奏会は毎年恒例の町会行事。生徒たちも地元の方々の前で演奏することを楽しみにしている。



八幡神社の祭礼では、尾久八幡中学校の生徒たちが神輿を担いでいる。他の地域の生徒たちも祭礼に参加する貴重な機会に。

次の世代に引き継ぐため 役員の人員確保が課題

今後の課題は、役員の人員の確保ですね。現在は、男性7名、女性7名の14名。本当はこの倍くらいの人数がいると動きやすいのですが…。

今は世帯数の半分くらいが町会員なので、若い世代の方にも町会の行事に関心を持っていただきたいと願っています。祭礼の支度など、私たちの世代にかかわらないこともあるので、次に引き継げるように考えたいと思っています。

が使えない場合に備えて、倉庫に備蓄している古い家具を新しく炊き出ししたりしていたんですよ。

あとは6月にバス2台を借りて、町会員の皆さんと一緒に、日帰りバスツアーを開催しています。一昨年は栃木県真岡市に日帰り旅行に行き、SLに乗りたり、益子焼を見たり、メロン狩りも楽しめました。



「楽しく、仲良く」が モットー。役員や会員の 皆で協力しながら運営

いざというときに備えて、地域とつながる場として町会に参加を

東日暮里三丁目南町会 会長 中島 基雄さん



● 東日暮里三丁目南町会

昭和8年に誕生した「日暮里二丁目旭町会」が始まりと言われる。戦後は活動が途切れるが、昭和24年ごろ「日暮里二丁目北文化会」が発足。昭和41年に「東日暮里三丁目南町会」となる。現在の世帯数は1357世帯。町会会員は780世帯程度。

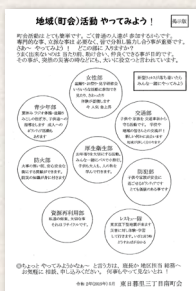
町会の行事が、地域で 互いの顔を知る機会に

荒川区は昔から、町会活動が比較的盛んです。このあたりは古くから住んでいる方も多いのですが、最近マンションや新築の戸建など、子育て世代の方も増えてきました。区外から転入してくると、町会がどんなものかわからない方も多いと思いますので、年間の主な行事や、交通部、防火部など各部の活動をまとめたチラシを作って回覧や掲示するなど、町会のことを知っていただく工夫をしています。

当町会は「楽しく、仲良く」をモットーにしています。役員は110名程度ですが、町会員の皆さんと協力しながら活動しています。役員だからといってすべての行事に参加する必要はあ

ふれあい館を介して 世代を超えた交流を

町会内の「夕やけこやけふれあい館」が地域コミュニティの中心となっています。毎年9月には敬老の集いを開催し、食事やカラオケなどで親交を深めています。また、ふれあい館ではお子さん対象のイベントも行われています。そこで数年前から、町会とふれあい館の共同企画として3月にバスハイイクを実施するようにになりました。若いご家



町会に気軽に参加してもおとなりとして作成したチラシ。読んでもらいやすいように各部の活動内容を簡潔に掲載。

族にはふれあい館のスタッフから声をかけていただき、世代を超えた交流を図っています。

防災対策の要は 町会活動を通じた交流

最近では皆さん防災対策への意識が高く、近隣の町会も一緒に防災計画を立てようという動きが出てきています。うちの町会だけでも、毎年9月に日暮里公園で防災訓練を行っています。

ただ、計画をしっかりと立てていても、実際に計画通りにいくとは限りません。東日本大震災のときの様子を町会で勉強しましたが、意見が食い違ったりスムーズに動くことができず、助かる人も助からなくなってしまう。町会活動で顔見知りになり、譲り合う度合いを感覚として掴んでおくことが大切だと思います。

町会にはこのほか、5月の元三島神社の祭礼など、楽しい行事がたくさんあります。興味のあることから、地域とのつながりを持つていただきたいです。



新型コロナウイルス感染対策の啓発として、対策を呼び掛けるチラシと一緒にマスク15枚を封筒にまとめ、1軒ずつポストに配布している。